

③中丸子の緑道を歩く ガイド (つぎナビ倶楽部) 20220409 版 k.kumagai

日時：2022年4月20日(水) 10:00 東急線 武蔵小杉駅中央口2 集合

歩行距離：約5.0KM、歩行時間：2時間 (----- 赤色の点線を巡ります)

交通：・中川 9:24-9:26 センタ北 9:31-9:43 日吉 9:49-9:51 武蔵小杉駅

・中川 9:10-9:13 あざみ野 9:20-9:29 溝の口 9:43-9:51 武蔵小杉駅

散策ルート：①武蔵小杉駅(集合) ⇒ ②向河原駅 ⇒ ③中丸子緑道 ⇒ ④神明大神 ⇒ ⑤有吉堤(トイレ) ⇒ ⑥北谷町緑道 ⇒ ⑦平間駅(解散)

昭和の日本、高度成長期を成した「京浜工業地帯の中核都市川崎」新旧を歩きます。

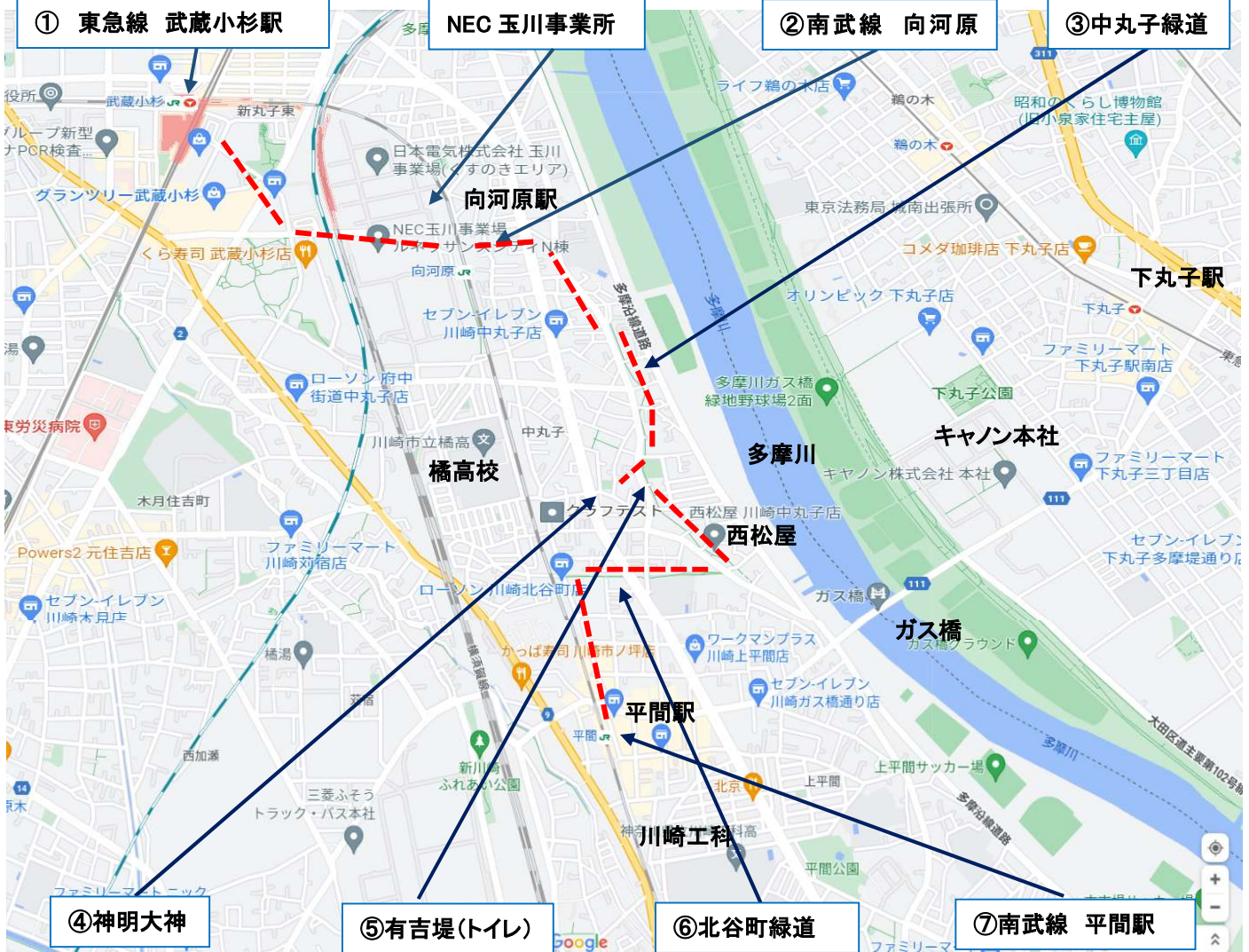


① 東急線 武蔵小杉駅

NEC 玉川事業所

②南武線 向河原

③中丸子緑道



④神明大神

⑤有吉堤(トイレ)

⑥北谷町緑道

⑦南武線 平間駅



今回のコースは、昭和の日本の高度成長期（1960年～1990年）、日本の工業を支えた京浜工業地帯の中核都市川崎市の武蔵小杉から中丸子を歩きます。

高度成長期の武蔵小杉から向河原一帯は、NEC や金属加工会社など大手の工場が立ち並んでいました。1990年代バブルがはじけて、コストの安い海外などへ工場が移転し、現在武蔵小杉一帯は、高層のマンション群となっています。

向河原から平間辺りは、工場で働く人々のベッドタウンとして発展し現在にいたっています。家々の間を流れていた小川が暗渠となり、現在緑道になっています。地域の方々が、花など手入れがされて四季の彩を感じます。

中丸子緑道の中間地点に、以前講座で学んだ「有吉堤」の記念碑があります。明治大正に、多摩川大洪水の被害からアミガサ事件が発生し「群道改修工事の名目」で堤防が作られました。当時の神奈川県知事の名をとって「有吉堤」として呼ばれ碑が立てられました。

集合場所：東急線 武蔵小杉駅中央口2辺り

武蔵小杉駅前 高層マンション群



向河原駅前 NEC 玉川事業所 高層研究施設

神明大神 1656年双黒権現として創建



今も道路として使われている「有吉堤」

双体の道祖神が14体境内裏手に並んでいます。中丸子を開いた歴史を学ぶことができます。

中丸子緑道 みかい堀を暗渠にした緑道

